

県立網千高等学校通信制課程 英語 CAN-DO リスト

| CEFR   | CEFR-J | 英検<br>CSE<br>スコア | 英検級<br>(目安)                      | 段階 | 聞くこと                                                                         | 話すこと                                                                                       | 読むこと                                                                   | 書くこと                                                              | 網千高校通信制 開講科目 <sup>*1</sup> |            |                  |
|--------|--------|------------------|----------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|----------------------------|------------|------------------|
|        |        |                  |                                  |    |                                                                              |                                                                                            |                                                                        |                                                                   | 英語<br>入門                   | ECI<br>LEI | ECII-1<br>ECII-2 |
| B1     | B1.1   | 1980～            | 2 級<br>(合格基準)                    | 12 | 身近な生活・文化・社会の話題について、標準的で明瞭に話された説明や対話を聞き、主要な点と、それを支える理由・具体例を捉えることができる。         | 〔やりとり〕教員と意見を交わし、理由の補足や関連する質問で会話を続けられる。<br><br>〔発表〕メモを基に、読んだり聞いたりした内容を要約し、意見と理由を筋道立てて説明できる。 | 身近な生活・文化・社会の英文を読み、必要に応じて語句を調べながら、主張と根拠や出来事の流れを捉え、目的に応じて必要な情報を選ぶことができる。 | 身近な話題について、目的に合わせて情報を選び、経験や意見を理由・具体例とともに、筋道の通ったまとまりのある文章に書くことができる。 |                            |            | ○                |
|        |        | 1950～            | 2 級挑戦<br>レベル                     | 11 | 身近な生活・文化・社会の話題について、はっきり話された説明や対話を聞き、必要に応じて聞き直しながら、主要な点や話し手の意見・理由を理解することができる。 | 〔やりとり〕教員に経験や理由を交えて意見を伝え、追加の質問や確認に対応できる。<br><br>〔発表〕準備したメモを使い、要点と意見を理由・具体例とともに説明できる。        | 必要に応じて辞書を使い、文化や身近な社会の説明文・物語を読み、全体の概要と主要な点、筆者の考えや人物の行動の理由を理解することができる。   | 辞書を必要に応じて使い、身近な話題の経験・感想・意見について、理由や具体例を添えた、つながりのある文章を書くことができる。     |                            |            | ○                |
| A2     | A2.2   | 1829～            | 準 2 級<br>プラス<br>(合格基準)           | 10 | 生活・文化・身近な社会の話題について、はっきり話されたまとまりのある説明を、絵やメモ、聞き直しを活用して聞き、概要と必要な情報を捉えることができる。   | 〔やりとり〕メモを参考に、教員と比較や理由を示し意見を交わし説明や確認を求められる。<br><br>〔発表〕キーワードや資料を使い、学習内容の要点と自分の考えを整理して説明できる。 | 必要に応じて辞書を使い、まとまりのある説明文や物語を読み、段落の要点や、比較・対比・原因と結果の関係を捉えることができる。          | 辞書や表現例を参考に、学習した話題について、比較や理由・具体例を使い、内容のつながりが分かる文章を書くことができる。        |                            | ○          | ○                |
|        | A2.1   | 1728～            | 準 2 級<br>(合格基準)                  | 9  | 身近な生活や文化について、はっきり話された説明や対話を必要に応じて聞き直し、話題と主な内容、理由を捉えることができる。                  | 〔やりとり〕教員に身近な話題の意見と理由を伝え、必要な情報を質問できる。<br><br>〔発表〕メモや原稿を使い、好きな作品や文化の特徴を具体例とともに説明できる。         | 語注や辞書を使い、文化・環境などの説明文や物語から、要点や出来事の流れ、理由や結果を読み取ることができる。                  | 例文や辞書を参考に、行きたい場所や好きな作品について、理由や具体例を加え、文をつないだ短い文章を書くことができる。         |                            |            | ○                |
| A1     | A1.3   | 1456～            | 3 級<br>(合格基準)                    | 8  | ゆっくり明瞭な短い説明を必要に応じて繰り返し聞けば、人物の活動・体験や、行き方・交通手段などの要点を聞き取ることができる。                | 〔やりとり〕教員と経験や将来の希望について応答し、聞き返しや語の説明を求められる。<br><br>〔発表〕原稿や絵を使い、人物や将来の夢を理由とともに順序よく紹介できる。      | 語注や辞書を使い、身近な話題のまとまりのある英文を読み、出来事の順序や人物の行動と理由を整理することができる。                | 例文や辞書を参考に、経験・将来の夢・関心のある人物について、情報を順序よく並べた短い文章を書くことができる。            |                            | ○          |                  |
|        |        | 1400～            | 3 級挑戦<br>レベル                     | 7  | ゆっくり明瞭な短い対話や説明を必要に応じて繰り返し聞けば、好きな食べ物・動物・行きたい場所と、その理由を聞き取ることができる。              | 〔やりとり〕対話例を参考に、教員と好みや行きたい場所について理由を添えて答えられる。<br><br>〔発表〕準備した原稿を使い、好きな物や行きたい場所を理由とともに紹介できる。   | 語注や辞書を使い、食べ物・動物・旅行などの短い説明文から、主な特徴や理由を読み取ることができる。                       | 例文や語彙表を参考に、好きな物や行きたい場所について、簡単な理由を添えて複数の文で書くことができる。                |                            |            | ○                |
|        | A1.2   | 622～             | 4 級<br>(合格基準)                    | 6  | ゆっくり話された短い対話を必要に応じて繰り返し聞けば、人の行動や場所、時刻などの情報を聞き取ることができる。                       | 〔やりとり〕例を参考に、教員と過去の行動や能力について質問・応答し、聞き返せる。<br><br>〔発表〕準備した原稿を使い、過去の体験や今の行動を簡単に説明できる。         | 必要に応じて辞書を使い、身近な話題の短い英文から、人の行動・場所・時や、したこととしなかったことを読み取ることができる。           | 例文や動詞の変化表を参考に、過去の体験や今していること、これからしたいことを短い文で書くことができる。               | ○                          | ○          |                  |
|        | A1.1   | 419～             | 5 級<br>(合格基準)                    | 5  | ゆっくり明瞭な短い自己紹介や対話を繰り返し聞けば、名前・出身・日付・数など、必要な情報を聞き取ることができる。                      | 〔やりとり〕質問例を参考に、教員と好み・誕生日・持ち物について質問・応答できる。<br><br>〔発表〕準備した原稿を使い、好みや日常の習慣を紹介できる。              | 既習語で書かれた短い自己紹介や対話を読み、人物の名前・好み・習慣などの情報を見付けることができる。                      | 例文や語彙表を参考に、自己紹介や毎日の習慣、身近な物の数・場所を簡単な文で書くことができる。                    | ○                          | ○          |                  |
| Pre-A1 | Pre-A1 | ～418             | 5 級挑戦<br>レベル<br>(英検 Jr.<br>GOLD) | 4  | ゆっくり明瞭に話され、必要に応じて繰り返されれば、名前・年齢・曜日などの身近な情報や、短い指示を聞き取ることができる。                  | 〔やりとり〕例を参考に、教員の質問に名前・年齢・好みを短い表現で答えられる。<br><br>〔発表〕例文を参考に準備し、自分や身近な物を短い文で紹介できる。             | 語彙表や絵を参考に、自己紹介や身近な物の説明を読むと、誰や何について述べているかを理解することができる。                   | 例文や語彙表を参考に、自分の名前・出身・好みなどを、簡単な文で書くことができる。                          | ○                          |            |                  |
|        |        | —                | 学習基礎<br>段階<br>(英検 Jr.<br>SILVER) | 3  | ゆっくり繰り返し話された短いあいさつや授業の指示を聞き、身振りの助けを得て、求められていることを理解することができる。                  | 〔やりとり〕手本を参考に、教員の質問に名前や好みを語句・定型表現で答えられる。<br><br>〔発表〕準備した表現で、名前と好きな物を簡単に紹介できる。               | 絵や語彙表を参考に、人や物の名前・特徴を表す、ごく短い既習の英文の意味を理解することができる。                        | 語彙表や書き出しを参考に、名前・好きな物など、自分に関する情報を短い表現で記入することができる。                  | ○                          |            |                  |
|        |        | —                | 学習導入<br>段階<br>(英検 Jr.<br>BRONZE) | 2  | 絵や実物の助けがあれば、ゆっくり話された色・数・身近な物の名前を聞き、意味を理解することができる。                            | 〔やりとり〕絵や実物を示した教員の質問に、Yes／No や既習語で答えられる。<br><br>〔発表〕手本を参考に、名前や好きな物を語句で伝えられる。                | 絵や写真を手掛かりに、身近な物を表す既習語や数字の意味を理解することができる。                                | 語の見本を参考に、身近な物の名前や数字を選んで書くことができる。                                  | ○                          |            |                  |
|        |        | —                | 英語学習<br>の極めて<br>初期の<br>開始段階      | 1  | 身振りや絵の助けがあれば、ゆっくり発音されたアルファベットや身近な語を聞き、対応する文字や絵を選ぶことができる。                     | 〔やりとり〕手本をまねて、教員のあいさつに短く返答できる。<br><br>〔発表〕手本の音声に続けて、身近な物の名前を言える。                            | 文字の見本を参考に、アルファベットの大字・小文字や、自分の名前に使われる文字を見分けることができる。                     | 見本を見ながら、アルファベットや自分の名前をローマ字で写すことができる。                              | ○                          |            |                  |

<sup>\*1</sup> 開講科目欄の「ECI」は「英語コミュニケーションⅠ」,「LEI」は「論理・表現Ⅰ」,「ECII-1」「ECII-2」はそれぞれ「英語コミュニケーションⅡ-1」「英語コミュニケーションⅡ-2」を表す